

県が育成したフリージア「エアリーフローラ」の 生産拡大に取り組んでいます

石川農林総合事務所

石川県では、水稲育苗用ハウスなどを冬季間に活用できる品目として、県が育成したフリージア「エアリーフローラ」の生産拡大に取り組んでいます。

石川農林総合事務所では、今まで栽培者がいなかったJ A白山の管内で、パイプハウスを所有する中小規模の水稲主体の経営体や野菜栽培の経営体に栽培を勧めた結果、白山市の鶴来地区で1経営体、鳥越地区で2経営体が新たに栽培に取り組むこととなりました。

パイプハウスが空いている期間を利用して栽培するため、育苗後の撤去作業を速やかに行えるように水稲の育苗箱を活用しています。

また、通常フリージア（エアリーフローラ）は、3～4月に出荷しますが、次年度の水稲や野菜の育苗が始まるまでに栽培から出荷までを完了させられるよう球根を9月上旬に苗箱に植え、5～6週間冷蔵処理した後ハウスで栽培し、2月下旬～3月上旬の出荷を目指しています。

いずれの経営体も花の栽培に初めて取り組むことに加え、鳥越地区のような標高が高く、かつ積雪が深い地域での栽培は県内初であることから、当事務所では農林総合研究センター、J A白山と連携して重点的に技術指導を行っています。



栽培説明会



鳥越地区の栽培ハウス

問い合わせ先：農業振興部（076-276-0371）